— AUS (アルテミス・ユーザ・サポート) 便り 2022/06/28号 → https://www.artemis-jp.com

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●全尼崎市民46万人の個人情報収めたUSBメモリー、一時紛失

https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2206/23/news142.html

https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/202206/0015410231.shtml

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/seikatusien/1027475/1030947.html



このニュースをザックリ言うと・・・

- 6月23日(日本時間)、<u>兵庫県尼崎市</u>より、<u>同市全市民分の個人情報等を記録</u>した<u>USBメモリーが紛失</u>したと発表されました。
- USBメモリーに保存されていたのは、<u>同市民460.517人分の住民基本台帳の情報</u>(統一コード、<u>氏名、住所、生年月日、性別等</u>)の他、<u>住民税に係る税情報360.573件</u>、2021年度・2022年度分の<u>非課税世帯等臨時特別給付</u>金の対象世帯情報のべ82,716世帯分および生活保護・児童手当受給世帯のべ86,026件分とのことです。
- <u>同市から委託</u>を受けていたBIPROGY社(以下B社)の協力会社の社員(後日協力会社からの再委託先の社員と発表あり)が業務のためデータをUSBメモリーに保存した後、それをかばんに入れたままB社社員らと飲食し、泥酔してかばんとともに紛失したとされています。
- USBメモリーのデータは暗号化されパスワードがかかっており、<u>後かばんとともに発見</u>されたことが同24日に発表されています。

AUS便りからの所感等

- B社が協力会社に依頼してデータを持ち出させた時点で<u>市に必要な許可をとっておらず</u>(データ処理に関する許可はとっていたものの、USBメモリーに保存することについての許可は得ていなかったともされています)、実際には協力会社のさらに再委託先が関与していたこと、USBメモリーの扱いについても、<u>正副2本の両方を持ち歩いていた</u>・データをすぐに消去しなかった(強力なパスワードで暗号化されている限り直ちに問題とはならないでしょうが、パスワードのヒントとなり得るような情報が記者会見で明かされたともされています)等、<u>多数の問題点が指摘される事実</u>となっています。
- USBメモリーについて、<u>紛失</u>やそれ以前にUSBメモリーにデータを保存することが可能な設定であることのセキュリティリスク、あるいはマルウェアを拡散させる手段として攻撃者に悪用される場面も多いことは長年指摘されており、さらには業務上データの持ち出しにUSBメモリーを必要とするような周辺環境の事情(オンラインでデータの転送等ができない等)が逆説的にセキュリティリスクの増大を招いているといった指摘もなされ、<u>(USB接続によるストレージ全般を含め)使用を停止する企業も</u>出ているという状況です。
- ともあれ今回のような事案において<u>どのような問題</u>があったかを挙げ、それぞれが<u>あらゆる条件のもとで問題となり得るか</u>、周辺の状況次第でカバーし得るものだったか、<u>どういった策によって解決・回避し得るかの分析</u>が行われることにより、<u>企業・組織においてとられるべきセキュリティ対策</u>が改めて意識されることを願いたいものです。



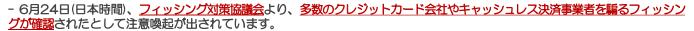


— AUS(アルテミス・ユーザ・サポート)便り 2022/06/28号 https://www.artemis-jp.com

▶カード各社等を騙るフィッシング同時多発か…対策協議会が注意喚起

https://www.antiphishing.jp/news/alert/creditcard_20220624.html

このニュースをザックリ言うと・・・



- 挙げられているフィッシングメールは、<u>件名に「カード年会費のお支払い方法に問題があります</u>」や「<u>お支払い金額確定のご案</u> 内」「<u>ご利用確認のお願い</u>」等と記載され、<u>利用確認のためのページを騙り</u>、<u>カード情報や個人情報を詐取</u>する偽サイトへリンク するものとなっています。
- 対象に挙げられているブランドは<u>JCB・Visa・Mastercard・イオンカード</u>・<u>三井住友カード</u>および<u>au PAY</u>となっており、<u>そ</u>の他のブランドが悪用されている可能性も示唆されています。

AUS便りからの所感

- 提示されているフィッシングサイトのURL(ドメイン名部分は一部マスク)は、パス部分がランダムな文字列ながらいずれも一定のものとなっており、同一のサイバー犯罪組織による可能性、また今後も別のブランドを騙るものが発生する可能性は十分に考えられます。
- 対策協議会や各セキュリティ団体などが随時挙げている対策として、利用している各サービスの公式サイトには事前に登録したブックマークからアクセスすること、また不審なメールやSMSについてはWeb上の報告や注意喚起がないか、メールの文面の一部等で検索して確認することを常日頃心掛けるようにし、またメーラー・Webブラウザーあるいはアンチウイルス・UTMのアンチフィッシング機能などを必ず有効にすることにより、フィッシングに引っかからないよう幾重もの防衛策をとることが重要です。





●Windows 8.1、2023/1/10にサポート終了…有償延長サポートはなし

https://iapan.zdnet.com/article/35189433/

https://news.mynavi.jp/techplus/article/20220627-2379780/

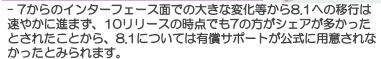
https://support.microsoft.com/ja-jp/windows/3cfd4cde-f611-496a-8057-923fba401e93

このニュースをザックリ言うと・・・

- 6月25日(日本時間)、<u>Windows 8.1</u>の<u>サポート終了</u>となる<u>2023年1月10日</u>まで<u>200日</u>となり、一部ネットメディアで取り上 げられています。
- マイクロソフト(以下MS)では<u>7月以降</u>、当該OSを<u>使用するPC上でサポート終了に関する通知を表示</u>するとしています。
- 一方で、Windows 7で提供している<u>有償サポート</u>「拡張セキュリティ更新プログラム(ESU)」を<u>8.1では提供しない</u>としており、後継である<u>Windows 10または11へのアップグレード</u>が推奨されています。

AUS便りからの所感

ZDNet Japan



- なお、<u>Windows 8</u>については<u>2016年にサポートが終了</u>しており、 万が一8を使い続けている場合、<u>8.1ヘアップグレード(無償で可能)し</u> ない限りセキュリティアップデートは受け取れません。
- 8と8.1をベースにしたWindows Server 2012および2012 R2についても2023年10月にサポート終了となります(2012からR2への無償アップグレードはありません)ので、こちらも併せてアップグレードを意識し計画することが肝要です。



「Windows 8.1」のサポート終了、マイクロソフトが通知を開始へ--2023年 1月に向け

Mary Jo Foley (ZDNet.com) 翻訳校正: 編集部 2022-06-24 10:31

今もまだ「Windows 8.1」を使用しているというユーザーは、少ないだろう。しかし、使用しているユーザーは、Windows 8.1のサポートが2023年1月10日で終了することを知っておく必要がある。

Microsoftは、Windows 8.1ユーザーに周知させるために、7月からサポート終了日についての通知を開始する。同社によると、通知が表示されたユーザーは、「Learn more (詳細について)」「Remind me later(後で通知)」「Remind me after the end-of-support date (サポート終了後に通知)」のいずれかを、2023年1月までクリックできる。同社はこれまでも、旧パージョンのWindowsユーザーに、より新しいサポート対象となっているパージョンへのアップグレードを呼びかける際に、こうした通知を行ってきた(ちなみにこれまでは、ドメインに参加しているPCの場合は、アップグレードを促されていなかったようだ)。

